

カニナリ

くんの



さく・え / おのでら*しずか



カミナリくんのお仕事は、
雨を降らすことです。



ある日、地上を見おろすと、
女の子が水まきをしていました。
「なにやらお花が咲くみたいだな。
楽しみだな。」



ところが何日たっても
お花は咲く気配をみせません。
女の子も悲しそうです。



「そうだ!!

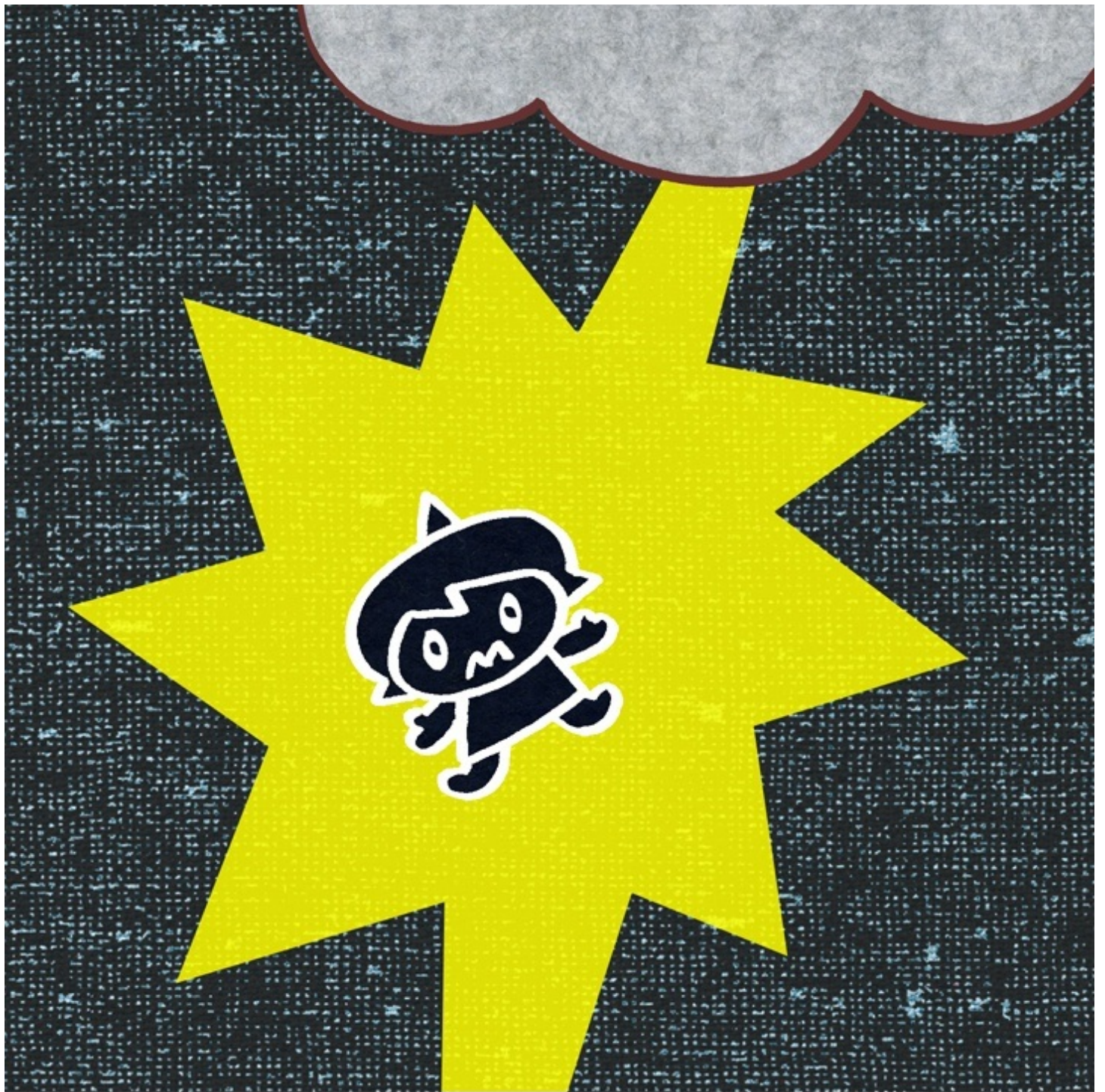
神様の涙が入っているとされる
あの水瓶の水をまけば、きっと
お花が咲くんじゃないかしら。」



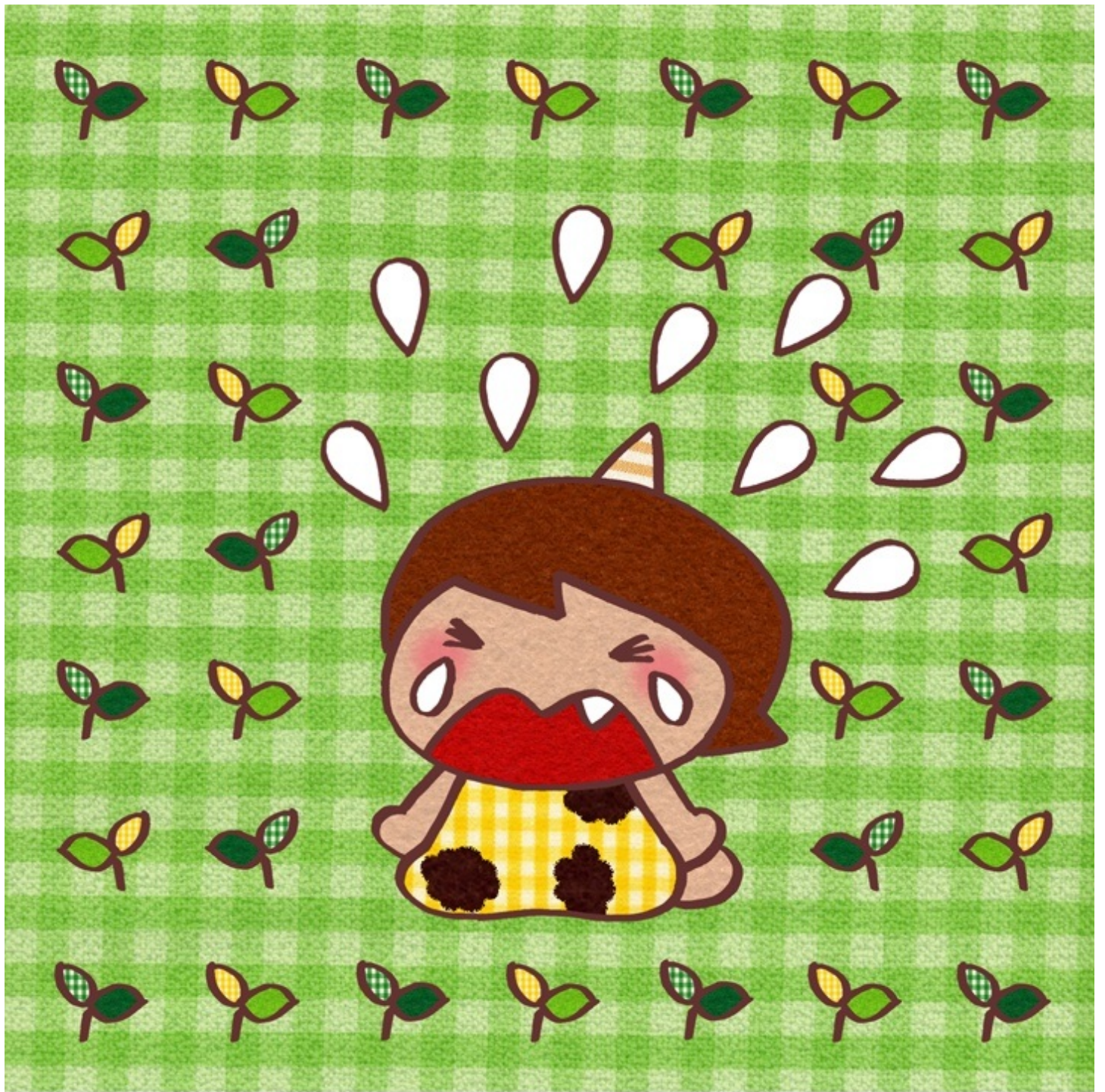
カミナリくんは見つからないように
黙って水瓶から水を拝借しました。
しかし、転んで大切な水を
こぼしてしまったのです。



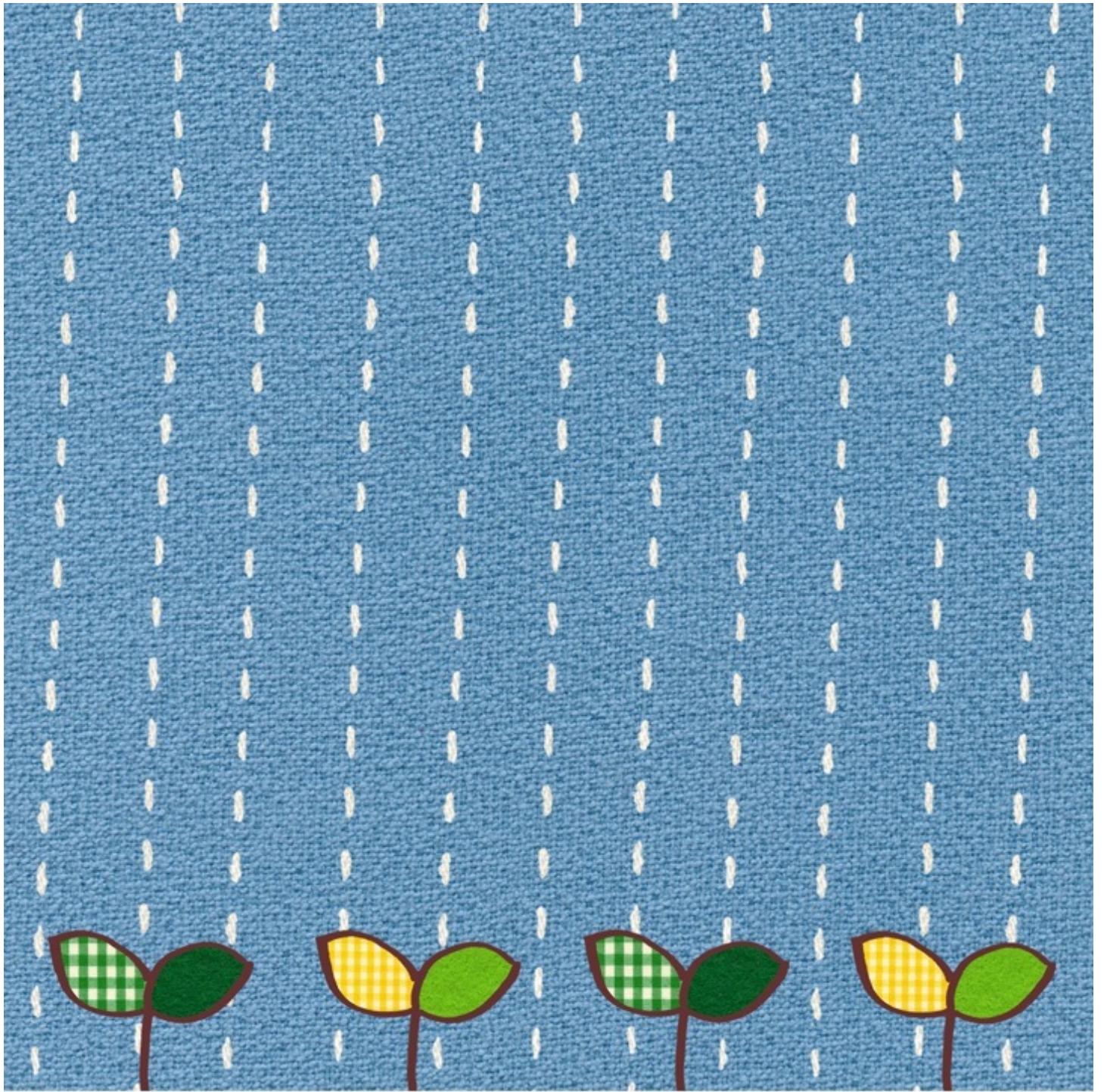
「こらあ!! 大切な神様の水を!!」
カミナリくんはお父さんにみつかって
怒られてしまいました。
「このバチあたりめ!!」



「頭を冷やしてこい!!」
ピカッ!! ゴロゴロゴロ!!



カミナリくんが落ちた所は
女の子の咲かないお花畑でした。
「うわ～ん!! うわ～ん!!」
カミナリくんは大泣きです。



カミナリくんの涙は、雨となって
大地へと降りそそぎました。



そしてたくさんのキレイなキレイな
お花を咲かせたのです。
女の子は、それはそれは大喜びです。



カミナリくんは、
元気になって空へと帰りました。
その顔はなんともいえない嬉しさで
笑顔いっぱいだったそうです。



最後まで読んでいただき
ありがとうございました。